



牧村範康 議員

池田町の観光PR行政について

～効果的で多角的なPR戦略が必要だ！～

昨年1月、観光立国推進基本法が施行されたが、池田温泉周辺地域の将来像を問う。

町長

観光圏整備事業として、広域的に進めていくことが大切。特に連泊できるエリアを形成することが目標。22年春には、(仮称)梅谷トンネルの開通、道の駅の整備が23年度、東海環状大垣西インターが24年頃です。道の駅の整備の充実をしながら、国道から温泉に向けての岐関線沿いの整備を進めたい。

ホームページ
HPのアクセス数が増加しているが、先進市町のように、町長や産業課長がブログで町をPRしたらどうか？

町長

ブログでの情報発信は有効な手段であるが、文字に残す場合は誤解を招く恐れがあるので慎重に進めたい。HP

のリニューアルに伴い、定期的に更新し、毎月1日に有線で流している「ふれあいトーク」を掲載していきたい。

池田フィルムコミッション事業を早期に立ち上げるべきではないか。

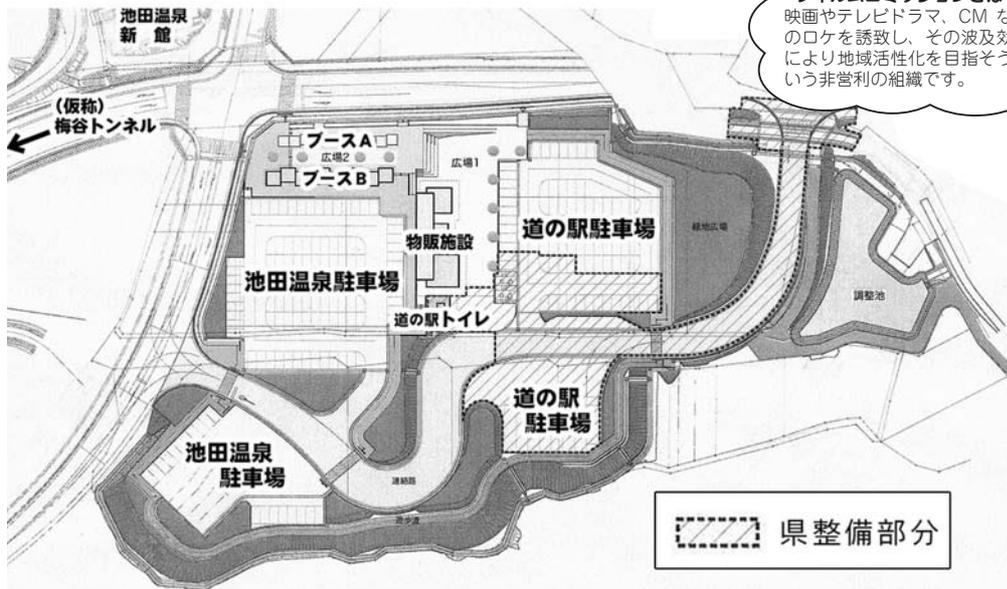
町長

池田町を売り込んでいけるように、西濃一帯と連携しながら広域的に進めていきたい。

計画の概要

計画面積	20,000㎡
物販施設	241㎡ (73坪)
道の駅トイレ	60㎡ (18.1坪)
ブースA	99㎡ (30坪)
ブースB	160㎡ (48坪)
池田温泉駐車場	小型102台/大型4台
道の駅駐車場	小型64台/大型9台

道の駅計画 (案)



若者の活力を集める 取り組みについて

晩婚化や非婚化が進む中、
少子高齢化対策の一環として

社協の結婚相談の効果が伸び悩んでいる。結婚への意欲を高めるために「結婚助成金制度」の導入が必要ではないか？県の「ぎふハッピープログラム」への積極的な取り組みを検討されたい。

町長

様々な施策の中に組み入れて今後考えていく。プログラムへも、参加しながら出会いの場を提供できるような形、町として継続的に行える状況、若い人達が住んでいただける環境をつくりたい。

その他の要望

・職員の企業意識の向上と災害など有事の時に機能できる青年組織の構築を…
・傍聴者や住民の皆様への配慮としても、議場での一問一答方式の導入を…